

一般質問

(4〜7面上段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は20人30件の一般質問がありました。

(他はその他の質問)

一括質問

緊急通報システムの 利用対象者を拡大する考えは

65歳未満の方への 支援の仕組みづくりなどは 今後の課題としたい

利用促進について、どのように考えているか。
福祉保健部長 市ホームページや「おとしよりのふくし」などに内容を掲載しているほか、地域支援連絡会においてデモ機を使用したPRなどを行っているが、今後は更に多くの方に周知できるよう検討していく必要があるものと考えている。

清水勝議員(市友) 市では、孤独死・孤立死防止の取組として、緊急通報システムを導入しているが、一人暮らし高齢者等に対する同システムの

議員 孤独死等の件数は、中高年世代や若年層においても増加傾向にあると聞く。そこで、同システムの利用対象者を現在の65歳以上から拡大する考えはないか。



▲緊急通報システム

福祉保健部長 孤独死は一般的に50歳代から危険性が高まると言われており、65歳未満の方への同システムに関する情報提供も必要と認識している。そのため、情報提供や支援の仕組みづくりについては今後の課題にしたいと考えている。

一問一答

行財政改革推進プランに基づく 事業見直しの現状は

平成28年度予算には 約4億1000万円の削減を 反映させていきたい

村木茂議員(市政) 平成26年度から29年度を計画期間とする市行財政改革推進プランの進捗状況を聞きたい。

市長 44の個別プランのうち8割以上が順調に進んでいるものの、遅れが生じているプランもあることから、追加の対策など必要な手段を講じて引き続き市民サービス向上の

財政担当 27年度の成果としては、民間活力の導入や内部評価による事務事業の見

一括質問

小池都知事の政策において 本市にメリットのある取組は

待機児童解消に向けた取組について 動向を注視していきたい

各市において、改めて都と力を合わせ、緊密な連携を図るための契機になるものと理解している。また、小池都知事に対しては、特にラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などが成功するよう、これまで以上に対話の機会を持ち、各種施策を推進していただけるものと期待している。

手塚歳久議員(市友) 都知事が変わったことによる本市への影響について聞きたい。
市長 小池都知事の誕生は、本市だけでなく、多摩地区の

一括質問

子育て世代包括支援センター 設置についての考え方は

本市の特色を生かした センターの設置に向けて 検討することが重要と考える

村崎啓一議員(市友) 子育て世代包括支援センターを設置することについて、市の考え方を聞きたい。

市長 児童福祉法等の改正で、妊産期から子育て期まで切れ目のない支援を行う拠点として同センターを設置することが求められており、本市の特

直しなどで約4億1000万円の経費を削減し、28年度予算に反映させている。

今後、PDCAサイクルを適切に運用し、社会的な役割や市民ニーズが低下した事業から時代に即した新たな事業に予算や人員を重点的にシフトできるよう、行財政改革を進めていく。

政策総務部長 保育所待機児童の解消が本市の喫緊の課題であるため、都知事が公約に掲げている待機児童解消に向けた取組について、動向を注視していきたい。

一問一答

市庁舎建設工事における 近隣住民への騒音・振動対策は

防音パネルの活用等について 検討していきたい

臼井克寿議員(市政) 公共施設工事における近隣住民への騒音・振動対策について、市の考えを聞きたい。

行政管理局長 騒音や振動については、防音パネルの活用や振動を抑制する作業工法の採用等を検討していく。



▲市庁舎建設工事の様子

一括質問

清掃活動等によるごみ処理の 窓口を統一する考えは

美化活動に取り組みや 制度となるよう検討したい

石川明男議員(市政) 市民協働を積極的に進める中で、まちの環境美化をより一層推進するために、どのような取組が必要であると考えているか。



▲「地域安全・環境美化の日」での清掃活動

市長 日頃から、各地域での自主的な清掃活動や「地域安全・環境美化の日」、多摩川清掃市民運動などを市民との協働により実施しているが、今後、環境美化

生活環境部長 きれいなまちづくりが、良好な生活環境づくりにおいて関係部署と窓口の一本化を含め、美化活動に取り組みややすい制度となるよう検討していきたい。